

フリーアクセスフロア BFW 標準施工要領書

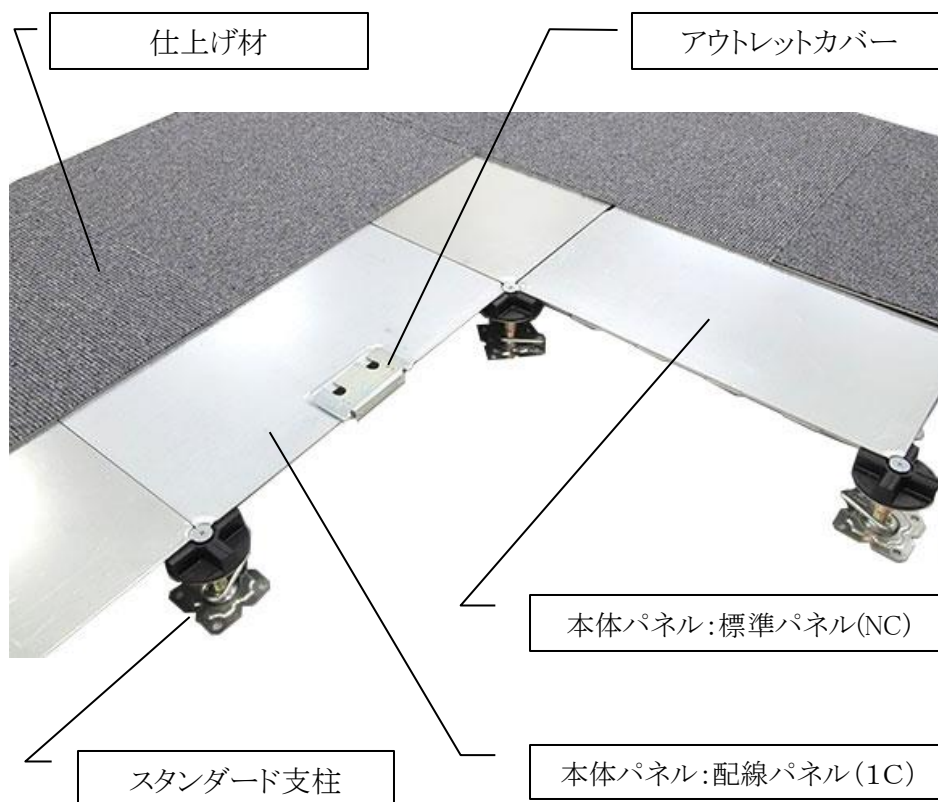


【目次】

ステップラインOAフロア BFW3000N・5000N は、ウッドコアスチールパネルとレベル調整型支柱の構成で最低床高H40を実現したレベル調整タイプのスチール系OAフロアです。
また、耐荷重性も2種類ラインナップしております。ウッドコアスチールパネルの為、加工性に優れ自重の軽量化により、運搬効率、施工効率に優れたOAフロアです。

1.BFWの構成	
部材・オプション部材・副資材	P3・P4・P5
2.BFWの仕様	
仕上げ高さ調整範囲	P5
3.施工手順	
3-1 施工現場状況の確認	P6
3-2 準備	P6
3-3 搬入・仮置き	P7
3-4 支柱の設置・高さ調整	P7
3-5 支柱の接着	P8
3-6 パネルの設置	P8
3-7 壁際(端部)パネルの設置	P9
3-8 ボーダー支柱と本体パネルの固定	P10
3-9 標準支柱と本体パネルの固定	P11
4.注意事項	P12
5.フリーアクセスフロアBFW自主検査表	P13

1. BFWの構成 部材・オプション部材・副資材



配線パネル・アウトレット開口部(使用例イメージ)



パネル交点部分 (構成イメージ)



1. BFWの構成 部材・オプション部材・副資材

本体パネル:標準パネル(NC)



用途:標準OAフロアパネル
材質:スチール(パーチクルボードコア)

本体パネル:配線パネル(1C)



用途:アウトレット開口を取り付けるOAフロアパネル
材質:スチール(パーチクルボードコア)

スタンダード支柱



用途:本体パネル4枚の交点に使用する支柱

ボーダー支柱



用途:ボーダー部分・カット加工パネル・補強等に使用する支柱

交点固定用ロックボルト



ロックボルトA 径8mm
H40・H50用



ロックボルトB 径12mm
H60以上用

用途:スタンダード支柱と本体パネルを固定するボルト(P10)

クッションカバー(のり付き)・ゴムチップ



用途:壁際(端部)パネル、開口加工部分の小口に使用する(P9)
寸法:5×20(糊面)×1000



用途:がたつきを修正する(P8)

1. BFWの構成 部材・オプション部材・副資材

推奨接着剤(支柱床固定用)

商品名

ルビロン302

製造元

トーヨーポリマー株式会社

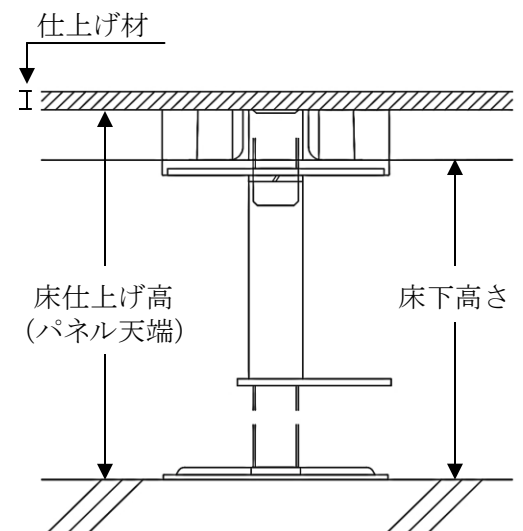
主成分

ウレタン樹脂 JAIA(日本接着剤工業会) F☆☆☆☆

2. BFWの仕様 仕上げ高さ調整範囲

標準高	床仕上げ高
H40	40～47
H50	47～57
H60	57～70
H70	67～80
H80	75～90
H90	85～110
H100	100～130
H120	105～150
H140	125～170
H160	145～190
H200	185～230

※標準高200mm以上のご対応も可能です。詳細はお問い合わせください。



3. 施工手順

3-1 施工現場状況の確認

①事前に設置施工場所の現場調査をトランシット、レーザー墨出し器等で、現場の床面不陸状態の実測調査を行い支柱の調整範囲を確認し、支柱種類の選定、必要数の積算を行います。

②下地コンクリートの清掃を行い、極端な突起物等は除去します。

リニューアル工事・改修工事の場合は既存ビニルタイル・長尺シート等の除去を行います。

③スロープ箇所、建具周り納まり、コンセント取り出し口の割付に留意し平面施工図を作成します。

【注意】 壁際のカット加工パネル寸法は150mm以上になる様に基準線を設定して下さい。

3-2 準備

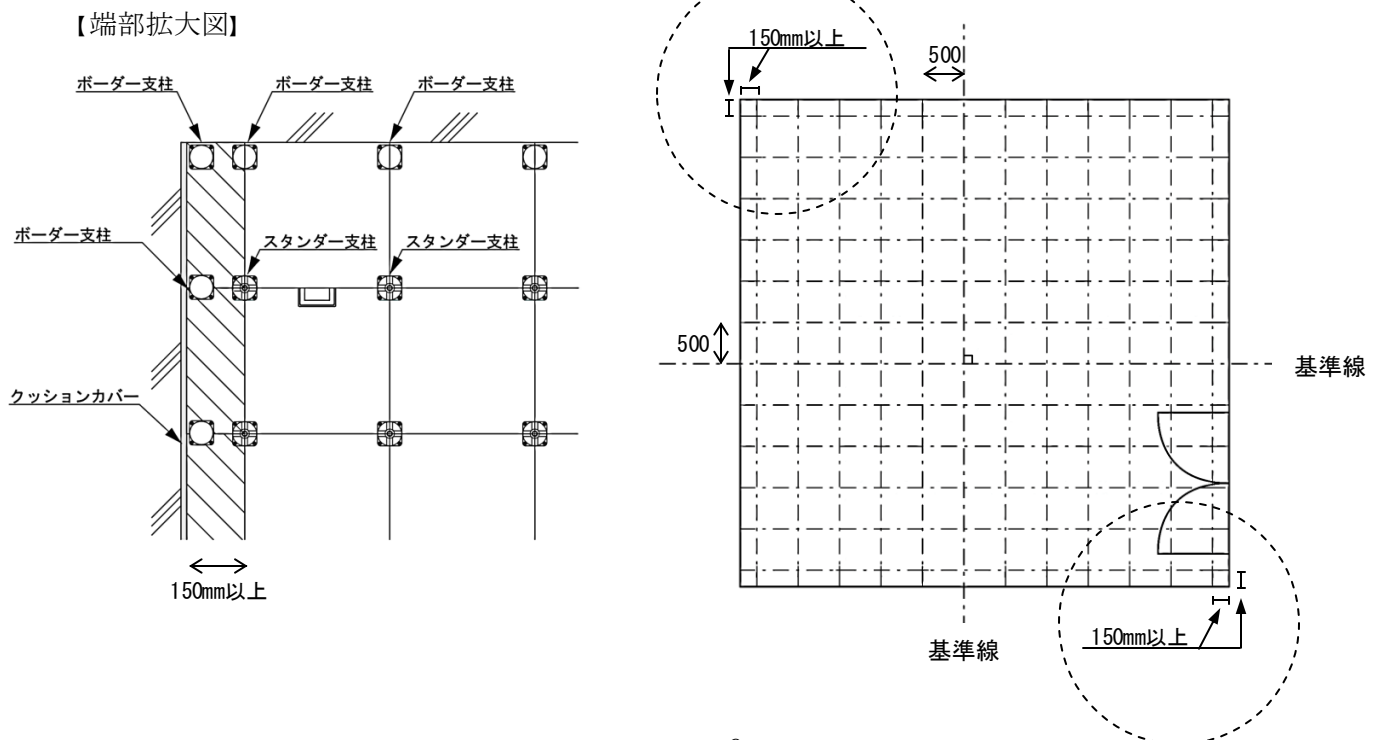
①施工に必要な工具を準備します。

②施工図に基づき基準線の墨出しを行います。

基準線は設置する居室の中央を原則とし設定しますが、居室壁面の直線、直角が確保されている場合は長手壁面より又、居室の大きさが小さい場合等には出入り口の中央を中心基準線にすることも可能です。

【注意】 壁際のカット加工パネル寸法は150mm以上になる様に基準線を設定して下さい。

③基準線より500mmピッチで施工範囲全てに墨出し作業を行います。



3. 施工手順

3-3 搬入・仮置き

- ①配送搬入された部材の数量を確認します。
保管、仮置きは平積みとします。壁に立掛けたり、縦積みすると本体パネルの変形等が発生する恐れがあります。又、資材の仮置きは建物の梁等に重量分散を考慮して行ってください。



- ②フロアパネル及び支柱等の間配りを行う

3-4 支柱の設置・高さ調整

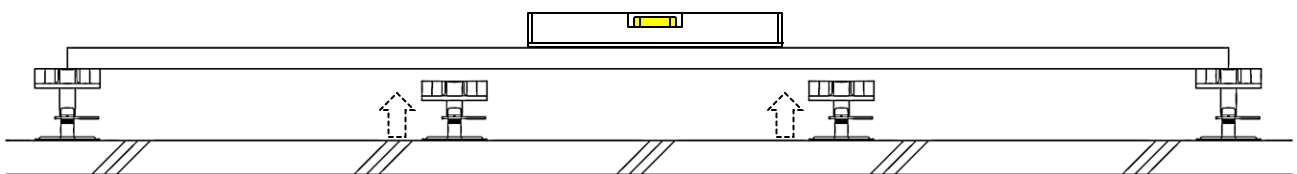
- ①スタンダード支柱を墨出した交差点に配置していきます。



- ②床面設定高さに合わせて支柱の調整をします。

基準となるスタンダード支柱のパネルとの設置部分を水準器等にて、仕上げ面よりパネルの厚みと仕上げ材の厚みを引いて調整します。

- ③レベル棒(たわみの無いアルミ製角パイプ等)又は、水系を用いてレベル調整した基準支柱より、他の支柱全てのレベルを合わせます。



- ④ロックレバーを回し支柱の固定を行います。

※BFWシリーズのH40/H50(ロックボルトA)に付いてはボルト固定と同時にパネル本体、パネル受けキャップ、調整台、座金支柱全てが固定されますので調整台と座金支柱を個別にロックレバーで固定する必要はありません。(P.10)

3. 施工手順

3-5 支柱の接着

- ①支柱を床面に接着剤にて接着します。

接着剤は、座金支柱の四辺及び座金部分の穴からはみ出す程度とし、床面にしっかりと押し付けます。
全ての支柱を一度に接着せず、接着剤の硬化時間及びパネル設置の数量に留意しながら順次行います。

3-6 パネルの設置

- ①レベル調整された支柱の接着剤が固まらない間に基準となる本体パネルを順次セットしていきます。
基準墨出し線に沿って垂直、直角、また本体パネルが水平にセットされているか確認しながらセットします。

- ②基準となる本体パネルから隣接するように順次ほかの本体パネルをセットしていきます。

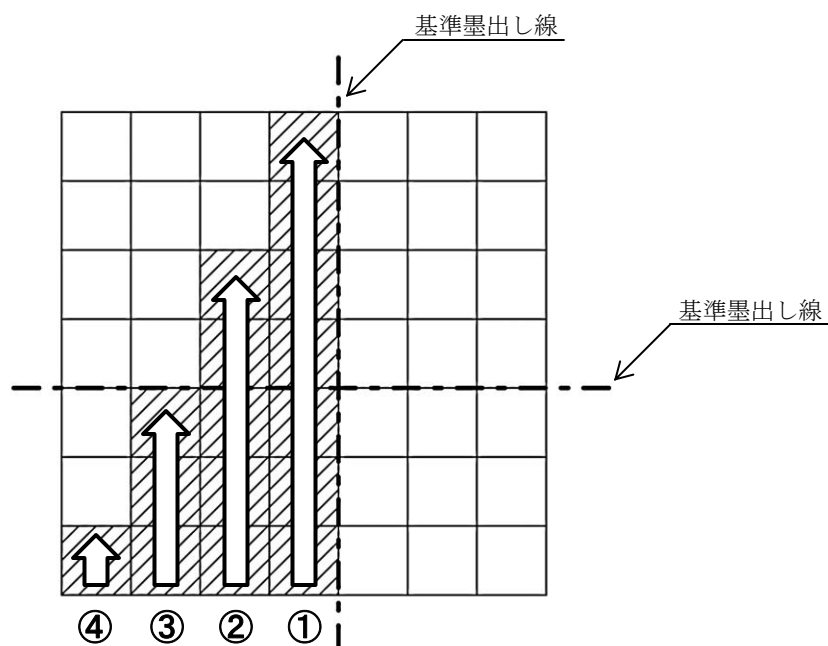
この時目地ずれを起こさないように確認しながら本体パネルをセットします。

パネルの四隅を直接手で触りがたつきがない事を確認してください。

※床面不陸状況等が悪く接触検査時にがたつきが直らない場合は別途ゴムチップを使用してください。

※標準パネルと・配線パネルは3:1(1㎡当たり標準パネル3枚、配線パネル1枚)を標準割合とします。

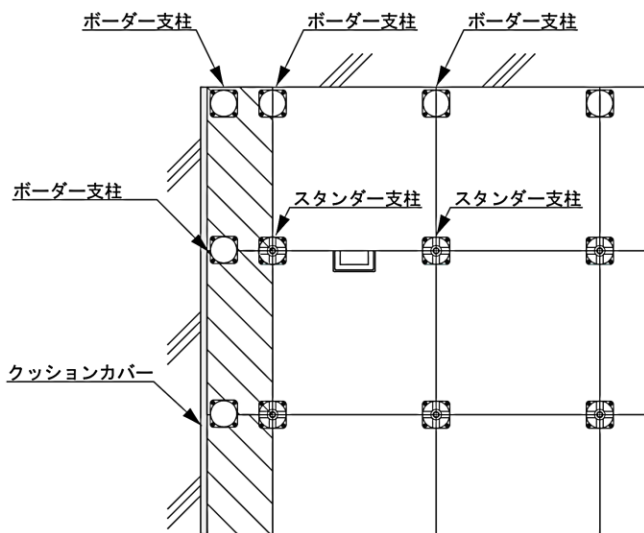
(敷設順序例)



3. 施工手順

3-7 壁際(端部)パネルの設置

- ①壁面のカット加工パネルには専用のボーダー用支柱を使用します。
できる限り壁面に寄せボーダー用支柱をセットし隣接する標準支柱よりレベルの調整をします。
- ②標準支柱と同様に接着剤を塗布し床面に接着します。
- ③カットするパネル寸法は150mm以下にならないように割付しますが、やむを得ず150mm以下になる場合は、ボーダー支柱を目地上からずらしてセットします。
※H40・H50用のボーダー支柱は目地上にのみセットできます。



H60以上ボーダー支柱 施工イメージ



H40・H50ボーダー支柱 施工イメージ

- ④真物のパネルと壁面までの寸法を測定し本体パネルを切断加工します。
加工をしたパネルの小口には配線の損傷防止、怪我防止の為、必ずクッションカバーの後処理施工してください。
※この時クッションカバー(のり付き)が施工できる程度のクリアランスを考慮して切断加工します。



クッションカバー後処理施工イメージ



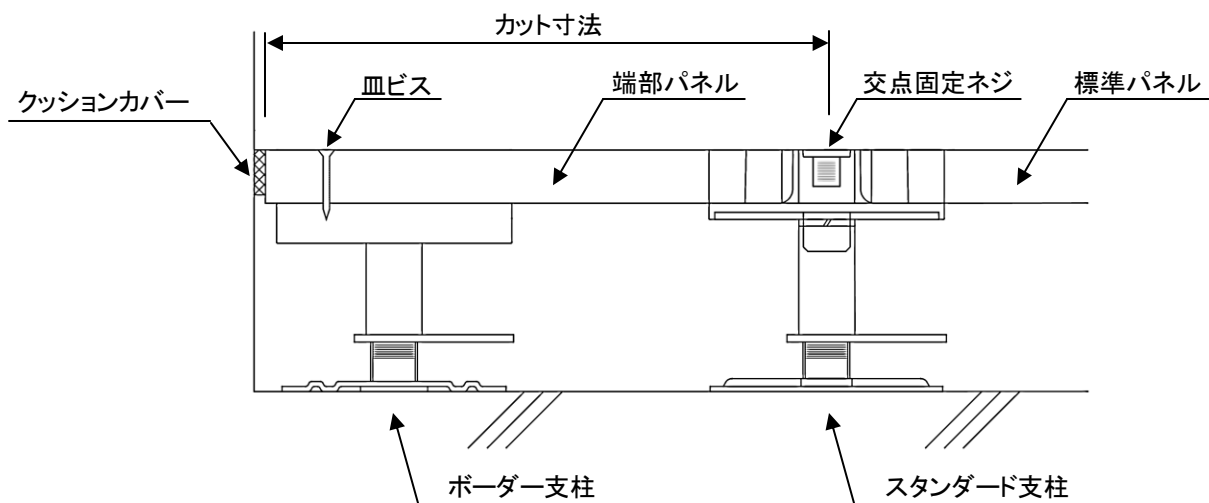
3. 施工手順

3-8 ボーダー支柱と本体パネル(端部加工パネル)の固定

①端部の本体パネルとボーダー支柱は状況に応じてビス止めが必要です。

カット寸法が小さくパネルの浮き上がりが発生しますので、パネルの上からボーダー支柱の調整台まで皿ビス(30mm)で固定してください。

ボルト止めする場合はボーダー支柱の中心部を避けビス止めが可能な調整台部分に施工してください。



3. 施工手順

3-9 標準支柱と本体パネルの固定

①パネル設置終了後、支柱と本体パネルをボルト固定します。

※支柱の標準高に合わせて下記ボルトを使用します。

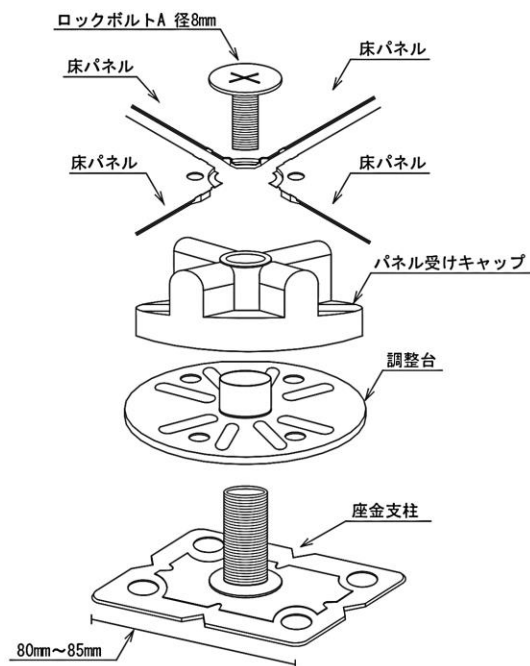
②本体パネル四辺の折返し部分を専用のボルトにて、パネルのガタツキ、浮き上がり、正確に配置されているかを確認して順次プラスドライバーにて固定していきます。

締め過ぎに留意し、本体パネルのずれ、浮き上がりが無いようにします

■適応床高さ 単位：mm	
■適応床高さ	配線空間(h)
40～50	21～31



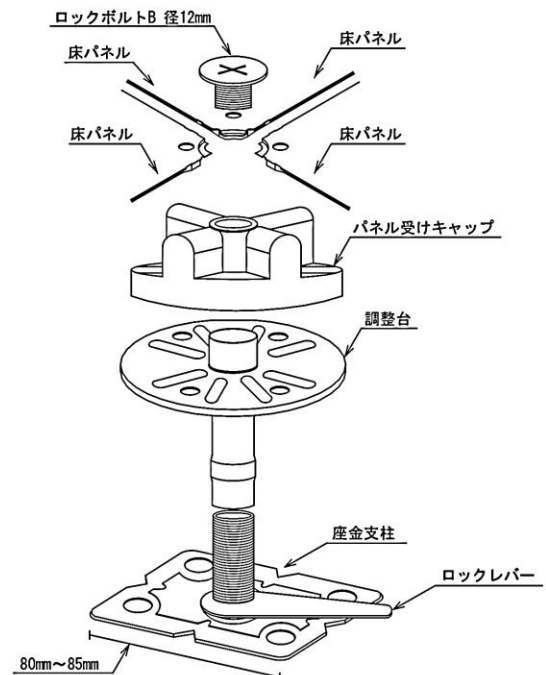
低床用ロックボルトA 径8mm



■適応床高さ 単位：mm	
■適応床高さ	配線空間(h)
60～500	41～481



標準ロックボルトB 径12mm



4.注意事項

- ・金庫、コンピュータ、重量書棚などの重量物を設置する場合は荷重のかかる場所に補強鉄板及びボーダー支柱で補強してください。またこれらの搬入、移動時には十分な強度のある養生が必要です。
- ・重量機器の搬入・設置の際は以下の点についてご注意ください。
 - (1)表面仕上げ材を保護する場合は、ベニア板(9mm以上)で養生してください。
 - (2)機器の設置に際しては、1ヶ所に集中しないようご注意ください。
 - (3)重量物の移動により養生合板が必要になる場合があります。
 - (4)配線用開口部の周辺は、強度が低下しますので重量物の設置にはご注意ください。
ボーダー支柱を必要とするケースがありますので詳しくはご相談ください。
- ・室内で飛んだり跳ねたり走ったりなど、床面に衝撃のかかるような使い方は避けてください。
- ・清掃時には、配線機器等に水が掛からないようにしてください。
- ・スロープを取り付けた際には段差に足をひっかけたりして、けがをすることがありますのでご注意ください。

販売元

STEPLINE ステップライン株式会社

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-1-10青木ビル6F

Tel. 03-5733-3927 Fax. 03-5733-3928

<http://stepline.co.jp/> E-mail: info@stepline.co.jp

2018.01版

— OA フロア —



QRコードで簡単アクセス!

フリーアクセスフロアBFW 自主検査表

平成 年 月 日

下記の自主検査を行いましたのでご報告します。

自主検査日	年 月 日 :
担当会社・氏名	
工事名称	
工区・階数	

No.	検査項目	合否判定基準	合否	不合格時対応
1	本体パネル面レベル	2mにつき3mm以下	合格 不合格	
2	本体パネル間の段差	1mm以下	合格 不合格	
3	目地の通り	目視により支障なきこと	合格 不合格	
4	がたつき	歩行により支障なき事	合格 不合格	
5	外観	目視により有害な破損や汚れのなきこと	合格 不合格	
6	開閉性	開閉により開閉復元が容易なこと	合格 不合格	
7	汚れ	目視により著しい汚れのなきこと	合格 不合格	

備考・別途報告欄